岡崎市制100周年記念事業
岡崎まちものがたり

龍泉寺

宗派：浄土宗西山深草派
本尊：阿弥陀如来
創建：1446（文安3）年

龍泉寺は崇福寺の末寺として建立された。1446（文安3）年3月天祐竜山が播磨の国の五箇荘から三河に来て崇福寺に住職として入り、伝教大師が彫刻した観音大士を別院に安置し、このお堂を「萬年山正観音院、龍泉寺」と名付けた。1645（正保2）年雷火によって本堂や付属の建物は焼失した。1660（萬治3）年になって、佐口与左衛門という遁世者が住持になり「専求」と名乗り、龍泉寺の本堂を再建した。1783（天明3）年になって「審空智範」が本堂庫裡を新築してようやく山号や寺号を回復したので、彼を中興の祖と呼んでいる。中島町は江戸時代には旗本領であったが、その領主の子孫の小笠原長常の墓がこの寺にある。長常は京都や江戸の町奉行を務めたり、陸軍・海軍奉行も務めたりした人物で、中島に帰って、61歳で亡くなった。長常の墓の碑文は勝海舟が書いたものである。
龍泉寺にある1821（文政4）年の絹本著色八相涅槃図は岡崎市文化財に指定されている。

岡崎市の指定文化財の指定（説明）があり、以下にそれを転記した。
・岡崎市指定文化財　龍泉寺

岡崎市指定文化財　龍泉寺
絵画絹本著色八相涅槃図　一幅
　色鮮やかな大幅の涅槃図（ねはんず）で、作者は地元岡崎の
江戸時代の画家石川貫河堂（かんがどう）（達堂とも、1780～1859）である。
本図は文政四年（1821）貫河堂四十二歳の作品で、壮年期の円熟した画境が
近世仏画の一偉観ともみなすべき、このような精細極密の描写を可能に
したものであった。
　図の左・右・下に、涅槃までの釈迦八相（はっそう）の二十二図を
雲・霞・土坡（どは）を巧みに使用して描いている。
　縦172.7cm、横141.3cm
昭和62年7月15日指定　岡崎市教育委員会

[天祐竜山（1370～1487）]
天祐龍山は1370（応安3）年に赤松師範の8男として播磨国白旗城に生まれる。2歳で父を失って叔父範貞に養われ、8歳で五箇荘滝口法福寺亳空について得度。その後上洛して円福寺5世堯慧に師事し、聰明で有名となった。1406（応永13）年法福寺に帰り約40年間住持であったが、1441の嘉吉の乱で赤松氏が滅亡すると三河に来住し、占部変相寺に寓居した。これを知った中島城主由良光家は天台宗昌泰寺を改宗させて崇福寺とし、天祐を開山としたという。常に学徒300を擁する学場となり、末寺は70をこえたという。1487（長享元）年11月11日、118歳で没したと言われている。
[小笠原 長常（1818～1878）]
小笠原 長常（おがさわら ながつね）は、江戸時代末期（幕末）の旗本（中島陣屋3,000石小笠原家7代当主）。久貝正満の4男として江戸市ヶ谷に生まれ郁七郎と称す。小笠原長坦の養子となり織部と称。同じく旗本の久貝正典は兄。養子に長功。官位は従五位下長門守、筑後守。軽鴎と号した。
小笠原永常の墓が龍泉寺本堂北西にある。次に碑文を掲げる。碑銘は勝海舟の書である。（六ッ美村誌より）

軽鷗小笠原永常君墓
君諱永常小笠原氏源姓世仕徳川氏始祖爲兵部大輔秀正三男壹岐守忠知忠知母岡崎三郎信康君女也君實遠江守久具正満以子文政元年戊亥十月廿七日生於江戸市谷邸及壯長門守小笠原長担養以爲嗣初稱郁七郎爲中奥小姓叙従五位下任長門守擢甲府勤番支配轉浦賀奉行累遷京都町奉行大目付勘定奉行江戸町奉行書院番頭坐事退隠無幾又起爲神奈川奉行改筑後守歴進陸軍奉行海軍奉行後致仕號軽鷗君天資温良風采瀟洒長吏事傍善和歌以風流自適焉明治戊辰徳川氏受封於駿河君従移静岡後復還東京戌寅秋遊三河碧海郡中島村葢舊菜邑也滞寓數日得疾太篤遂以八月十九日沒享年六十有一葬同村龍泉寺人皆痛惜焉君配長担女擧一女養但馬守酒井忠行弟長功爲嗣以女配之
明治十三年庚辰三月　正六位　藤原次謙　撰
海舟先生勝安芳君墓表　　　　早川龍介　書

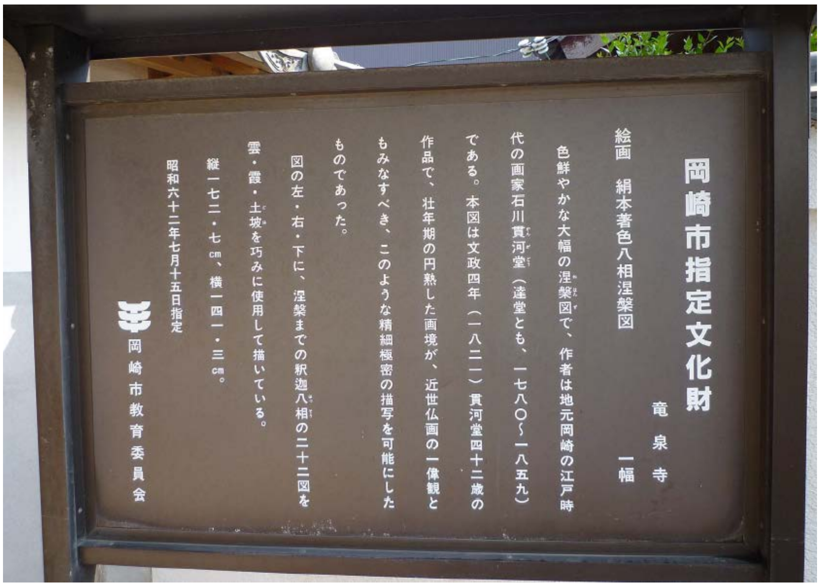
森下來藏は龍泉寺本堂北西にある森下家の墓に眠っている。以下の文が刻まれている。(六ッ美村誌より)

翁名は爲方通稱來藏と號す。市川米庵の門に入り書を能くす。世々小笠原家に仕ふ。祖先は小倉藩にて慶長の亂名浪花に戦死す。後唐津藩に屬し又旗本小笠原氏に従ふ。一新の際静岡県に移り當村に土着し明治十七年三月八日喜字の齡に至りて病死せらる。嗚呼悼哉。
早川龍介　謹書

龍泉寺本堂 20150806

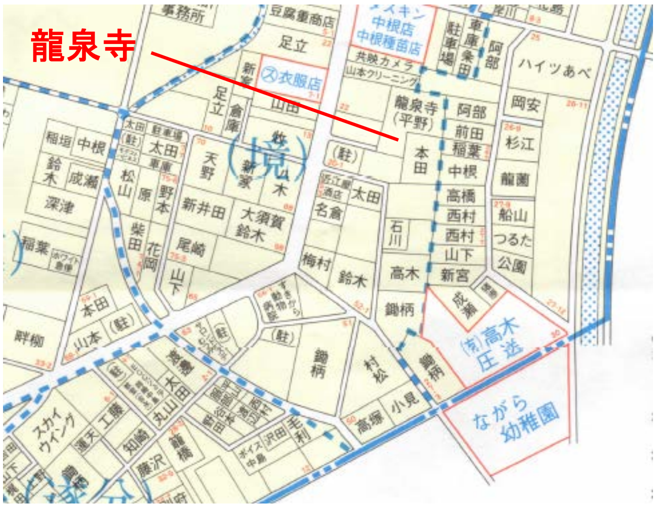
龍泉寺山門 20160815

小笠原長常墓・森下家墓 20160815



岡崎市指定文化財 20160519

岡崎市指定文化財 涅槃図



本項は以下の資料を引用している。

[六ッ美村誌]

編者：　六ッ美村是調査会
発行：　六ッ美村是調査会
発行日：1926（大正 15）年 12 月 1 日
発行所：日新堂書店
印刷所：活版印刷所

[わたしたちのふるさと　六ッ南 114 選]

監修者　総代会長　平井　良美
　　　　社教委員長　近藤　武美
著者　　岡崎市立六ッ美南部小学校 6 年児童 114 名
　　　　（平成 25 年 3 月 19 日卒業）
編者　　岡崎市立六ッ美南部小学校 6 年担任
　　　　権田　康成、加納　隆、坂井　純、榊原　美佐子、山本　佳愛
発行日　2013（平成 25）年 3 月 1 日　初版発行
印刷所　ブラザー印刷株式会社
製本　　ブラザー印刷株式会社
発行　　岡崎市立六ッ美南部小学校